

～未来のために～ いま

明石市立二見中学校
第2学年(72回生)学年通信
平成30(2018)年 9月27日
第114号

若者Box

助け合って生きるべき

最近テレビでニュースを見ていると命や物をそまつにしているという話題が多い。人類が自分のために周りの物をぎせいにすることはいけないと思う。

第一の理由は人間というのは「人と人の間」と書くように助け合っているのが理想だからである。周りの命や物をそまつにすれば、お互いに助け合うことができなくなってしまう。

第二の理由は、もし命や物をそまつにして自分だけが楽しんでいると周りがめいわくするからだ。自分中心で地球が回っているのではなく、人類の「類」は仲間という意味でもあるように周りの仲間がいて人類であるからだ。

物はいくらでもたくさん使えるように思うかもしれないが必ず終わりがくるのだ。必要だから使うのはいいが、むだに使うのはいけないと思う。

人類は命や物を大事にしてともに助け合つて生きるべきである。

(小学生 姫路市) 11歳

○私をこの記事を読んで本当にそうだと思いました。今の時代、子どもに暴力をふるったり駅やシャッターなどに落書きしたりなど、命、物を粗末にしている人がいます。人(命)の場合、せっかくこの世に生まれてくれたのに、権力や偉大さ、自分勝手な理由で傷つけ、最悪の場合亡くなってしまってもいいのでしょうか。物の場合、相手の物だけに限らず、自分の物も粗末にあつたて良いのでしょうか。この地球という星ではいろいろな物(者)が助け合って生きています。互いを傷つけ合うのではなく、助け合って生きるべきだと思います。

○私も命や物を粗末にすることはには反対です。しかし、そういう話題が後を絶たないのが今の現状です。SNSが普及して「インスタ映え」などで食べもしないような食べ物をわざわざ買ったりする人もいます。人間同士で傷つけ合うといったような悲しいニュースだってあります。命は一つしか無いのに、その命を同じ人間が奪うのはとてもおかしい話です。物も上の文章の通りで無駄に使うのはいけないことです。どちらも幼稚園や小学校で学んだ基本的なことです。命や物を無駄にしている人たちにもう一度思い出してほしいです。

○人類は命や物を大事にして、共に助け合って生きるべきである。という最後の文章がとても心に残りました。人の命も、動物の命も、物も、同じくらい大切だと思いました。周りの人と助け合って生きていって、決して物を粗末にしてはならないと考えました。この記事は、人間や人類の字に注目して話しているので、とても分かりやすかったです。また、この記事は小学生が書いたものだけど、素晴らしい記事になっているので、僕もこんな記事が書けるようになります。

○僕は全員の意識を変えた方がいいと思った。この地球は人類のためにあるのではなく、生命のためにあるものだと思うから。また、命はどうしても1度きり。自殺をしようとする人もいます。それに気づいた人が止めてあげるべきだと思う。

○この記事を読んで、1つの命を大切にしなければいけないということが分かりました。私は、動物にやが刺さっているのが見つかったや、野良猫を殺して公園に捨てたというニ

ュースを見ます。このようなニュースで私はいつもこういうことをしている人はどういう心境なんだろうと考えます。だから、私はこういう人がいなくなるような社会を作っていたら良いと思います。だから、私も、自分の命、人の命、動物の命を大切にできる人になりたいと思います。

○この記事を読んで思ったことは、まず物を大切にすることです。僕はあまり物を大事にしないので、これから大事に使っていきたいです。そして、このクラスみんながお互いのことを助け合っていけるクラスになればいいと思いました。

○私はいつも、気に入った物や好きな物は粗末にしないけど、それ以外の気に入らなかった物とか食べ物とかは残してしまいがちで、自分でも分かっているけど、欲には負けてしまいます。でも、小学生の子がこんなに立派な意見・考えを持っていることに驚きました。自分は中学生だし、物を粗末にしてはいけないと思うし、本当に苦手な食べ物は、残すくらいなら初めから買わない方が、残した分を本当に欲しい人に与えられるんじゃないかなと思います。

○11歳の子どもがこんな文章を書けるなんてすごいと思いました。確かに人は助け合って生きていくべきだと思うし、それが口だけで終わってもいけないと思います。そして、地球にはたくさんの生物が共存していて、人間が物や命を粗末にすることで、その生物たちが絶滅する可能性もあります。私は人と人だけでなく、この地球に生きる生物とも助け合って生きていくことができれば一番平和になるのではないかなと思うことができました。

○この記事で命や物を大切にしていって終わりがくるにしても、その終わりを遅らせることもできると思うから、命、物を大切に、共に助けあうことが大切だと思いました。

○そもそも自分たちはまだ学生で、物とかは全部家族に買ってもらっています。なので、自分のお金で買ったわけじゃないので、粗末にすると家族に対して失礼だと思います。例えば、友だちに何かを買ってあげるとか、家族に買ってもらった物を友だちにあげるなどということがあっていいと思います。おこづかいをくれても、そのお金は友だちに何かを買うようにではなく、自分のために使っているのだから、こういうのでも物を粗末にしているのと同じだと思います。自分の周りには物がたくさんあります。なので、その1つ1つを大切にしていきたいです。

○命や物を大事にすることは確かに大切なことだと思う。自分のために周りのものを犠牲にすることはいけないとあるが、我々人は他の動物などの命をいただいて生きているから自分のために、他のものを犠牲にすることは仕方ないことだと思う。だけど、その命に対する感謝は忘れてはいけないと思う。

若者Box

命の重さ 実習で実感

「いただきます」を大切にしています。

農業高校で命の尊さを学んだからです。

高校2年の冬、ちょっとした興味でニワトリの食肉解体実習に参加した私は、先生がニワトリの首を切ったとき目を背けました。包丁を伝って落ちる赤い血は私に命を奪った事実をつきつけているようでした。

甘い考えでそこにいた私は目の前で一つの命が絶たれたその空気の重さに耐えきれませんでした。ニワトリを自分の手で殺して初めて命の重さを感じました。

「生きるために仕方がない」。その言葉を言い訳に、生き物の命をいただいているという事実に向き合えていなかった自分が恥ずかしかったです。生きていくためだからこそ感謝と敬意をもって「いただきます」を言っているのだと学びました。

夢は栄養教諭になることです。子どもたちには食事の大切さはもちろん、食を通して命の大切さも教えられる。そんな栄養教諭になりたいです。

(高校生 加古川市) 17歳

こんな記事もありました

